

発注企業動向調査結果

-2019.4-

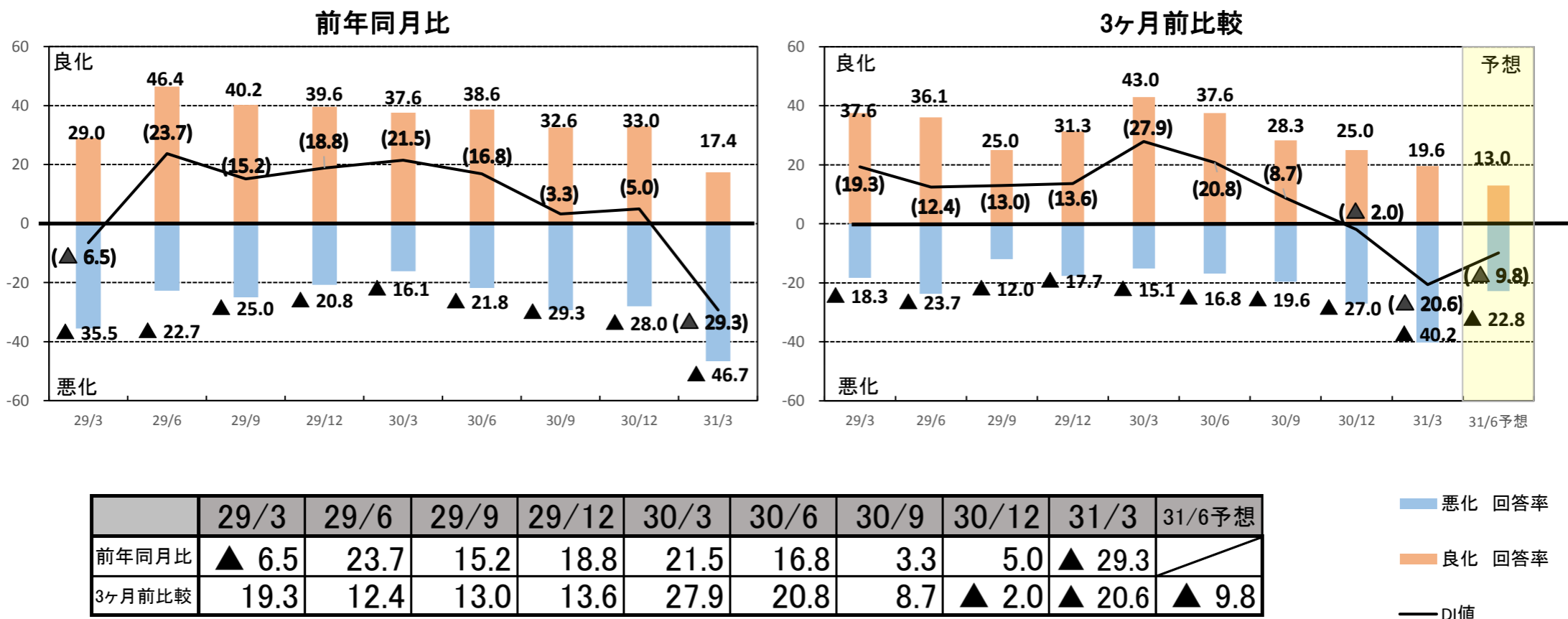
- 調査時点 平成31年3月調査(平成31年3月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業92社(回答率:61.33%)

<業種内訳>

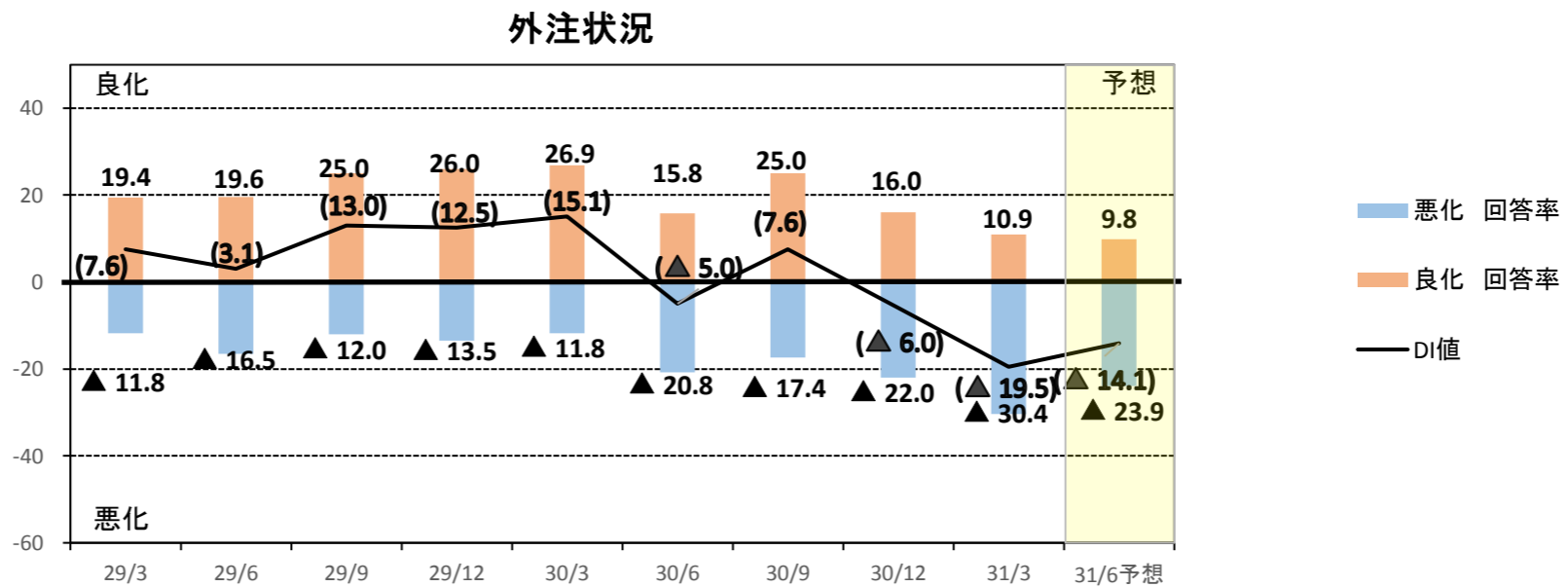
プラスチック	9社
鉄鋼・非鉄	10社
金属製品	11社
一般機械器具	18社
電気機器	17社
輸送用機器	17社
精密機器	3社
縫製	7社
計	92社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

●生産高



●外注状況



	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12	31/3	31/6予想
前年同月比	▲6.5	23.7	15.2	18.8	21.5	16.8	3.3	5.0	▲29.3	
3ヶ月前比較	19.3	12.4	13.0	13.6	27.9	20.8	8.7	▲2.0	▲20.6	▲9.8
外注状況	7.6	3.1	13.0	12.5	15.1	▲5.0	7.6	▲6.0	▲19.5	▲14.1

●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは▲29.3で前回の5.0から34.3ポイント減で平成29年3月調査以来の悪化に転じた
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは▲20.6で前回の▲2.0から18.6ポイント減で悪化となった
- ・外注状況(3ヶ月前比較)は▲19.5で前回の▲6.0から13.5ポイント減で悪化となった
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲9.8で10.8ポイント増の改善、外注状況が▲14.1で5.4ポイント増の改善という予想になった。
- ・その他自由意見として、5G通信機器・IoT向け設備投資が継続している、米中貿易摩擦の解決を願っている、建設用ボルト等材料入手困難なものがあり営業活動を控えているという意見が寄せられた。